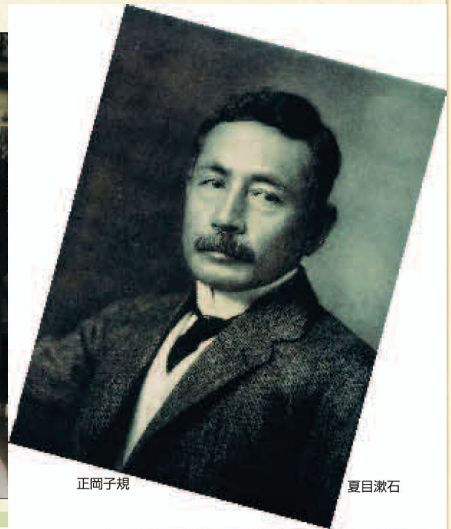


松山

松山文学散歩

2006年、夏目漱石が執筆してから100年目を迎える「坊ちゃん」。明治という時代を舞台に日本人として生きることの本質を描いた司馬遼太郎の代表作「坂の上の雲」。松山の街を歩くとそんな小説のワンシーンが目の前に開ける瞬間があります。子規や山頭火が晩年を過ごした松山は、自らの生き方を振り返る、そんな散歩のできる街。松山へおいでんかな、もし。



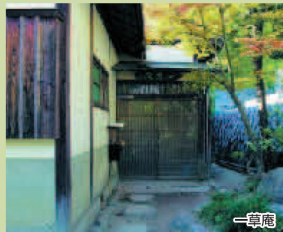
正岡子規

夏目漱石



★①松山城

正岡子規が「松山や秋より高き天守閣」と詠んだ桜の名所。天守閣から眺める松山平野と瀬戸の島々は必見です。
■アクセス/伊予ロープウェイ前バス停下車すぐ。
■問い合わせ/089(921)4873
(松山城総合事務所)



★②一草庵

漂白の俳人・種田山頭火が晩年を過ごした場所で、庵内には当時の生活を物語る用具が残されています。
■アクセス/伊予鉄一草庵入口バス停下車すぐ。
■問い合わせ/089(948)6603
(松山市文化財課)



★③ロシア人墓地

来迎寺境内にあるロシア人墓地。松山捕虜収容所で亡くなった98名のロシア兵が眠っています。
■アクセス/伊予鉄ロシア人墓地バス停下車すぐ。
■問い合わせ/089(948)6603
(松山市文化財課)



★④庚申庵

伊予随一の俳人・栗田栲堂が建てた草庵。「わび」「さび」の精神を風雅三昧感じることが出来ます。
■アクセス/伊予鉄庚申庵入口バス停下車徒歩4分。
■問い合わせ/089(915)2204
(庚申庵史跡庭園)



★⑤愚陀仏庵

松山中学校に赴任した夏目漱石と病氣療養のため滞留していた正岡子規が、当時同居していた建物を復元したものです。
■アクセス/伊予鉄一番町バス停下車徒歩6分。
■休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月5日
■問い合わせ/089(921)3711
(萬翠荘)



★⑥道後温泉

大國主命や聖徳太子も訪れたという天下の名湯。周囲に子規記念博物館や湯築城址など多くの観光スポットがあります。
■アクセス/伊予鉄道後温泉バス停下車徒歩5分。
■問い合わせ/089(921)5141
(道後温泉本館)

ちょっと足をのばせば

三津浜

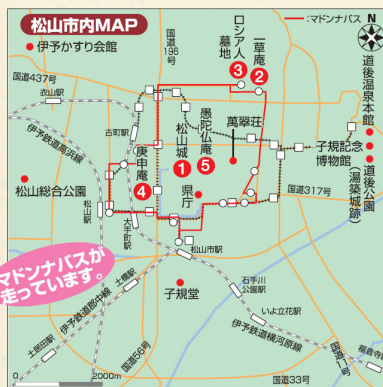
「坂の上の雲」の主人公たちがそれぞれに志をかみしめ旅だった港町・三津浜。現在も室町時代から続くという渡し船や江戸・明治時代の町並みが残っています。



ちょっと足をのばせば

四国遍路

四国に来たならお遍路さん。歩き遍路の方が増えています。「いつか行きたいなあ八十八ヶ所巡り」そんな夢を実現するための第一歩です。松山市内には46番浄瑠璃寺から52番太山寺までの8ヶ所があります。



●問合せ先

松山市観光産業振興課
〒792-8585松山市二番町4-7-2
TEL (089) 948-6555～8

●交通機関連絡先

伊予鉄道(株) バス TEL (089) 948-3172
路面電車 TEL (089) 948-3323

●コインロッカー情報 松山駅舎

※上記の交通機関の便数・運賃は休日・祝日のものです。(2006年2月1日現在)